# 第５講　論述問題（400字）

## 13世紀の政治体制の推移

13世紀の政治体制の推移について，次の（ア）～（エ）の語句を用いて論述せよ。解答文中，これらの語句には下線を付せ。ただし，語句使用の順序は自由とする。

（ア）永仁の徳政令　（イ）執権　（ウ）承久の乱　（エ）御成敗式目

## ワシントン体制

1921（大正10）年から翌年にかけて開かれたワシントン会議で日本の外交政策は大きく転換した。これについて，下記の問いに答えよ（問１～問３あわせて400字以内）。

問１　この会議でつくりだされた東アジア・太平洋地域での新たな国際秩序を何と呼ぶか。また，この国際秩序を生み出す背景となった東アジア・太平洋地域をめぐる情勢の特徴を，第一次世界大戦前のそれと対比しながら説明せよ。

問２　海軍の一部に反対があったにもかかわらずワシントン海軍軍縮条約の締結に日本政府が踏み切った理由を，第一次世界大戦期からの日本の経済と国家財政のあり方の変化に着目して具体的に説明せよ。

問３　ワシントン会議後の国際秩序の下で展開された日本の対中国政策の特徴を，幣原外交を例にとって説明せよ。また，幣原外交が破綻するにいたる経過を説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈 ***Note*** 〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

# 第５講　確認テスト

1　承久の乱で敗れ隠岐に流された上皇とは？

2　承久の乱後，京都守護に替えて鎌倉幕府が設置したものとは？

3　御成敗式目を制定した３代執権は？

4　３が1225年に設置した，執権を補佐する役職とは？

5　永仁の徳政令が出された時点での鎌倉幕府の政治体制を何というか？

6　第一次世界大戦後のヨーロッパにおける国際平和体制を何というか？

7　ワシントン会議時の日本の首相とは？

8　1922年，九カ国条約締結により，翌年に破棄された日米間の協定とは？

9　1922年，ワシントン海軍軍縮条約を締結したのは計何カ国か？

10　ワシントン体制下，憲政会(のち立憲民政党)内閣で協調外交を展開した外務大臣とは？

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈*Note*〉

解答

1　後鳥羽上皇　2　六波羅探題　3　北条泰時　4　連署
5　得宗専制政治　6　ヴェルサイユ体制　7　高橋是清
8　石井・ランシング協定　9　5カ国　10　幣原喜重郎

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

## 第５講　論述問題（400字）

### 13世紀の政治体制の推移（筑波15）

源頼朝存命中，幕府は将軍独裁体制だったが，死後，御家人の合議制へ移行した。とくに源氏将軍と外戚関係にあった北条氏は，義時が1213年の和田合戦後に侍所と政所の別当を兼ね，執権の地位を確立した。21年の承久の乱で朝廷を破った後，３代執権泰時は，補佐のための連署や評定衆を設置した。また32年には武家初の法典である御成敗式目を制定し執権政治が確立した。５代時頼は，所領裁判の公正と迅速化をはかり引付衆を設置，数々の紛争にも勝利し，摂家将軍から皇族将軍へ転換するなど権勢を誇った。８代時宗は元寇を凌ぎ勢力を拡大したが，恩賞が出せず，警備負担が続く御家人の不満は高まった。９代貞時の頃，得宗専制政治が強まり，御内人と外様御家人の対立が深まる中，97年に永仁の徳政令が出された。しかし一時的な効果しかなく，悪党と呼ばれる新興武士の活動も畿内を中心に広がり，鎌倉幕府の支配体制は大きく揺らいでいくこととなった。（400字）

### ワシントン体制（一橋91）

問１ワシントン体制。大戦前の日本の大陸進出策は，満州におけるアメリカとの対立という問題を抱えつつ，日英同盟協約・日露協約という外交の二本柱により支えられていた。しかし，大戦中の二十一カ条の要求・西原借款，その後のシベリア出兵継続など日本の野心的な行動や，ロシア革命に伴う日露関係の消滅により，米英や中国との対立を深めた。問２終戦によりヨーロッパが復興し大戦景気が収束，戦後恐慌が訪れた。米英との建艦競争を続ける財力はなく，また，新たに世界の中心となったアメリカとは，貿易関係のみならず外交的にも協調する必要があった。問３憲政会のち立憲民政党内閣の幣原喜重郎外相は，対欧米協調，対中国内政不干渉・既得権益維持を基本路線とした。しかし，国民革命軍による北伐が進み満蒙に対しその勢いが波及する恐れが強くなると，軍部・右翼・立憲政友会などから軟弱外交と批判を受け，柳条湖事件を契機に満州事変が勃発し破綻した。（400字）



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。